

平成22年度

第 1 回

武蔵村山市公民館運営審議会会議資料

平成22年5月11日(火)

武蔵村山市公民館運営審議会

第1回 武蔵村山市公民館運営審議会次第

日 時：平成22年5月11日（火）午後2時

会 場：市役所3階 301会議室

1 開会

2 教育長挨拶

3 委員紹介

4 職員紹介

5 報告事項

- (1) 平成21年度公民館講座実施報告について
- (2) 平成22年度公民館講座実施予定について
- (3) 武蔵村山市民企画講座について
- (4) その他

6 議題

- (1) 武蔵村山市公民館運営審議会委員長の選出について
- (2) 武蔵村山市公民館運営審議会副委員長の選出について
- (3) 平成23年度公民館講座について
- (4) その他

7 その他

報告事項1 平成21年度公民館講座実施報告について

このことについて、次のとおり報告します。

1 公民館講座実施概要

(1) 市民講座

※ 一時保育有

講座名	回数	時間帯	会場
地域を知る デエダラまつりで 踊ろう（親子教室）	全5回	9月19日～ 10月17日 土曜日 13時～15時	総合体育館 会議室

(2) 家庭教育講座

※ 一時保育有

講座名	回数	時間帯	会場
村山うどんをつくろう	1回	8月29日 土曜日 10時～14時	さくらホール 実習室 和室

(3) シルバー教室

講座名	回数	時間帯	会場
健康ウォーキング	全4回	2月5日～3月5日 金曜日	さくらホール 展示室

(4) リーダー研修会

講座名	回数	時間帯	会場
平成21年度武蔵村 山市リーダー研修会	全6回	6月20日～9月5日 (宿泊研修あり)	さくらホール 展示室 屋外体験学習広場 他

2 公民館講座事業報告

家庭教育講座：村山うどんをつくろう

- 1 目的 村山の郷土料理である村山うどんづくりを通じて、親子のコミュニケーションをはかり、子供達に対する父親の理解を深める一助とする。
- 2 期間 8月29日（土）午前10時～午後2時
- 3 場所 さくらホール（市民会館）実習室・和室
- 4 講師 村山うどんの会（村山かてうどん継承研究所）中平義勝氏 他
- 5 対象 市内在住・在勤・在学の親子（小学生とその男性の保護者）
- 6 定員 8組（抽選）
- 7 参加者 5組 12人（申込者数 6組 14人）

年代	6歳未満	小学生	30代	40代	50代
参加人数	1人	6人	2人	2人	1人
- 8 一時保育 有（0人）
- 9 参加費 無料。ただし、材料費等の実費は個人負担とする（一組500円）。
- 10 内容 村山うどんづくりの体験学習。

平成21年度 武蔵村山市リーダー研修会

- 1 目的 地域活動のリーダーを養成することを目的として、野外活動施設での体験実習を中心に、グループ活動や野外活動を通じてリーダーとして基本的な知識、技術、態度を学習する。
- 2 期間 6月20日～9月5日 (全6回)
- 3 場所 さくらホール (市民会館) 展示室 ほか
- 4 講師 NPO 法人ヒューマンアクティブ余暇楽習研究所代表 土井彰氏
- 5 対象 武蔵村山市内に住所を有する青少年
- 6 定員 小学4・5・6年生 (初級) 20名、中学生 (中級) 10人、中学校卒業以上 (上級) 5人の計35人
- 7 参加者 28人 (申込者数28人)
- 8 参加費 無料。宿泊費・材料費等は個人負担 (1人当たり8,000円)。

9 内容

回	月 日	場 所	内 容	参加人数
1	6 / 20 (土)	さくらホール 展示室	はじめまして (自己紹介) コミュニケーションゲーム	22人
2	7 / 4 (土)	さくらホール 展示室	野外技術を学ぼう テント張り、ロープワーク等	22人
3	7 / 18 (土)	さくらホール 会議室	実際に企画してみよう キャンプ事前説明等	17人
4	7 / 25 (土)	武蔵村山市屋外 体験学習広場	デイキャンプ	16人
5	7 / 31 (金) ～ 8 / 2 (日)	埼玉県立名栗 げんきプラザ他	体験キャンプ・実習 (42.195km 徒歩旅行)	21人
6	9 / 5 (土)	さくらホール 展示室	まとめ会	18人

市民講座：地域を知る デエダラまつりで踊ろう(親子講座)

- 1 目的 平成21年10月24・25日開催の「第4回村山デエダラまつり」において、デエダラボッチ山車の運行とともに、お囃子や太鼓にあわせて踊る「デエダラ踊り」への出演を目指し、踊りの講習会を行う。新たな村山の伝統をつくる「デエダラまつり」に参加することで、地域社会への参加の促進や地域連帯意識の向上を図る。
- 2 期間 9月19日～10月17日（土）午後1時～3時（全5回）
- 3 場所 総合体育館 会議室
- 4 講師 ダンスインストラクター 中村 仁美 氏
富士流創作舞踊教授 大野 益代 氏
- 5 対象 市内在住・在勤の親子（子供は小学生）
- 6 定員 20組（抽選）
- 7 参加者 7人（申込者数7人） 大人4人 子供3人
- 8 一時保育 有（0人）
- 9 参加費 無料 ※小道具のみ、揃いのものを実費負担にて準備

10 内 容

回	月 日	内 容
1	9 / 19	開校式 デエダラ踊りを踊る①（基本動作）
2	9 / 26	デエダラ踊りを踊る②
3	10 / 3	デエダラ踊りを踊る③
4	10 / 10	デエダラ踊りを踊る④
5	10 / 17	デエダラ踊りを踊る⑤（衣装合わせ・リハ）

シルバー教室：知って得する健康講座 健康ウォーキング

- 1 目 的 日々の生活において、何気なく行っている「歩く」という行為には心身のストレスを癒し、腰痛やひざ痛、さらには生活習慣病など、様々な健康の悩みを改善する効果が期待できる。
また、本講座への参加を通じて、受講生間の交流をはかり、高齢者が楽しく学習するなかで、自らの生活に生きがいを見出せるよう、体験学習の機会を提供し、高齢者の社会参加への推進を図ることを目的とする。
- 2 期 間 2月5日～3月5日（金）午後2時～4時 （全4回）
- 3 場 所 さくらホール（市民会館）展示室 等
- 4 講 師 NPO 法人 ウォーキング研究所 代表 駒崎 優 氏
- 5 対 象 市内在住・在勤・在学の60歳以上の方
- 6 定 員 20人（先着順）
- 7 参加者 25人（申込者数25人） 男性3名・女性22名
※申込多数のため、25名の受講生を受け入れた。
- 8 一時保育 無
- 9 参加費 無料

10 内 容

回	月 日	内 容	場 所
1	2 / 5	健康ウォーキング（講義）	中部地区会館 休養室
2	2 / 12	美しく、健康的な歩き方 （各々の健康の悩みに応じた ウォーキング実践）	さくらホール 展示室
3	2 / 19		中部地区会館 学習室
4	3 / 5		さくらホール 展示室

- 11 その他 受付初日の午前中には、申込が定員数に達し、シルバー世代の“健康”に対する関心の高さを感じた。現在、受講生の数人が中心となって、自主グループを発足しようという動きがある。

報告事項 2 平成 22 年度公民館講座実施予定について

このことについて、次のとおり報告します。

平成 22 年度公民館講座実施計画（案）

区分	講座名	回数	予定月	備考
市民講座	エコ・ライフ	全 2 回	1 1 月	市民を対象に、生涯を楽しみ、充実させるための知識・知恵・技術について学習する機会を提供し、生活の質の向上に役立てるとともに、地域社会への参加を促進し、連携意識の強化をはかる。
	健康体操	全 4 回	2 月	
	市民企画講座テーマ 武蔵村山の郷土料理	全 7 回	1 0 月～	
家庭教育講座	夏休み 親子で木工作	1 回	8 月	今回は、幼少期に大切な人間形成にかかわる「子育て」について学習し、親としての知識と理解を深める。実習形式と講演会形式で実施する。
	親子でクッキング	1 回	1 2 月	
	親学講座（講演会）	1 回	2 月	
シルバー教室	健康ウォーキング	全 4 回	1 0 月	高齢者が楽しく学習し、自らの生活に生きがいを見出せるよう、知識・技術・姿勢等について学習する機会を提供し、社会参加への推進を図る。
	パソコン教室	2 回	1 月	
リーダー研修会	平成 22 年度 武蔵村山市 リーダー研修会	全 6 回	6 月～ 8 月	次世代を担う青少年を対象に、地域におけるリーダーとなる資質を学習するため、野外活動についての知識や知恵、リクリエーション技術について学習する。

参考資料 〈講師謝礼基準〉

	A	B	C	D
区分例	大学教授 民間学者 官署局長 著名ジャーナリスト 弁護士	大学准教授 民間専門研究者 短大教授 官署部長	大学講師 大学助教授 短大講師 官署課長	高専・高校教授 民間技術者 官署係長
単 価	13,000円	11,500円	10,000円	9,000円

※ 家庭教育講座以外は、講師謝礼額の上限を 11,500円とする。

平成22年度リーダー研修会 実施要項

1 趣 旨

青少年の健全育成を目的として、レクリエーションや野外活動などの楽しいプログラムを通じて集団活動の喜びを知り、その体験学習を通じて仲間とのコミュニケーションの大切さを学ぶ機会を提供する。

さらに講習の中でメンバーシップやリーダーシップ及びグループワークの大切さを学習し、将来の武蔵村山市を支えるリーダーの養成、地域活動や青少年活動、及び地域ボランティア活動を担うリーダーの養成を行う。

2 目 的

- ・ 野外活動の楽しさを知る。
- ・ 「生きる力」の育成を目的とし、安全教育も含めて野外技術の体得を目指した体験学習の場とする。
- ・ キャンプを通じて集団活動を体験する中で、メンバーシップ、リーダーシップを学び、協調性を身につける。
- ・ 自然と接する中で感性豊かな青少年の健全育成を目指す。
- ・ ボランティア意識を育む。
- ・ 子供の輝ける場所、活躍できる場所を提供し、居場所作りの一端を担う。

3 研修日程

研修日程は、次のとおりとする。

回	日 程	時 間	場 所	内 容
1	6月13日(日)	13:30～ 16:30	市民会館 展示室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開会式 ・ 自己紹介 ・ 事業説明 ・ レクリエーションゲーム
2	6月27日(日)	13:30～ 16:30	市民会館 展示室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 野外学習について(必要な物、注意事項等の説明) ・ 班作り、役割分担 ・ キャンププログラム企画
3	7月11日(日)	13:30～ 16:30	市民会館 展示室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 野外技術学習 ・ 追跡ハイキング
4	7月25日(日)	9:00～ 16:00	屋外体験 学習広場	デイキャンプ <ul style="list-style-type: none"> ・ テント張り ・ ロープワーク、蒔き割り ・ 調理実習(飯盒炊さん)
5	7月31日(土) ～ 8月2日(月)	2泊3日	長野県 栄村	体験キャンプ・実習 <ul style="list-style-type: none"> ・ プログラム企画に沿って実施 ・ メインプログラム(登山等)
6	8月8日(日)	13:30～ 16:30	市民会館 展示室	<ul style="list-style-type: none"> ・ まとめ

4 参加対象者

市内に住所を有する、小学4年生から20歳までの計20人とする。

5 参加費

無料。

ただし、宿泊費・材料費等は個人負担（1人当たり8,000円程度を予定）。

6 講師

武蔵村山市の教育を支援する市民の会 安原 武平 氏 ほか

7 募集方法

(1) 広報手段

平成22年5月1日付発行の市報に掲載する。

(2) 受付方法

平成22年5月6日から5月21日（金）まで生涯学習スポーツ課で受け付ける。

定員を超えた場合は、抽選とする。

8 その他

この要項に定めるもののほか、必要な事項は教育委員会が別に定めるものとする。

家庭教育講座 「夏休み 親子で木工作」実施要項（案）

- 1 目 的 親子と一緒に時間を過ごすことのできる夏休み期間中に、子供達が普段は扱う機会の少ない道具の使い方を学び、丸太のコースター等を作成する木工作を通じて、親子のコミュニケーションをはかり、子供達に対する親の理解を深める一助とする。
- 2 実施月日 8月7日（土） 午後2時から4時まで
- 3 講座内容 木工作（丸太のコースター等）
- 4 講 師 市内で活動する木工作グループのメンバー
（生涯学習市民学園まつり参加団体のメンバーと調整中）
- 5 対 象 市内在住・在学の小学生とその保護者
- 6 場 所 市民会館（さくらホール）展示室
- 7 参加費 無料（ただし、材料費として数百円程度を集める。）
- 8 募集方法
 - (1) 広報手段
市報、市ホームページへの掲載。
市民会館・地区会館等、市内公共施設でのチラシ配布。
 - (2) 受付方法
電話、FAXにて、生涯学習スポーツ課で受け付ける（先着順）。

報告事項 3 武蔵村山市民企画講座について

このことについて、別紙のとおり報告します。

資料 武蔵村山市民企画講座実施要綱（案）

報告事項4 その他

議題1 武蔵村山市公民館運営審議会委員長の選出について

武蔵村山市公民館運営審議会規則（昭和48年4月12日教委規則第9号）第2条第1項の規定に基づき委員長を互選する。

委員長 _____

（参考）

◎ 武蔵村山市公民館運営審議会規則（抄）

（委員長及び副委員長）

第2条 審議会に委員長及び副委員長を置く

2 委員長は、審議会を代表し、会務を総理する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

議題 2 武蔵村山市公民館運営審議会副委員長の選出について

武蔵村山市公民館運営審議会規則（昭和48年4月12日教委規則第9号）第2条第1項の規定に基づき副委員長を互選する。

副委員長 _____

（参考）

◎ 武蔵村山市公民館運営審議会規則（抄）

（委員長及び副委員長）

第2条 審議会に委員長及び副委員長を置く

2 委員長は、審議会を代表し、会務を総理する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

議題3 平成23年度公民館講座について

このことについて、次のとおり意見を求めます。

平成23年度公民館講座事業計画（案）

区 分	講 座 名	回数	備 考
市民講座			市民を対象に、生涯を楽しみ、充実させるための知識・知恵・技術について学習する機会を提供し、生活の質の向上に役立てるとともに、地域社会への参加を促進し、連携意識の強化をはかる。
家庭教育講座			乳幼児期において、重要な人間形成にかかわる「子育て」について学習し、親としての知識と理解を深める。
シルバー教室			高齢者が楽しく学習し、自らの生活に生きがいを見出せるよう、知識・技術・姿勢等について学習する機会を提供し、社会参加への推進を図る。
リーダー研修会	平成23年度 武蔵村山市 リーダー研修会		次世代を担う青少年を対象に、地域におけるリーダーとなる資質を学習するため、様々な体験学習を行う。

〈講師謝礼基準〉

	A	B	C	D
区分例	大学教授 民間学者 官署局長 著名ジャーナリスト 弁護士	大学准教授 民間専門研究者 短大教授 官署部長	大学講師 大学助教授 短大講師 官署課長	高専・高校教授 民間技術者 官署係長
単 価	13,000円	11,500円	10,000円	9,000円

議題4 その他

その他

※ 次回会議の開催日程について

	開催日（予定）	時 間	場 所
1	平成22年 5月11日（火）	午後2時	市役所301会議室
2	平成 年 月 日（ ）	午後 時	
3	平成 年 月 日（ ）	午後 時	
4	平成 年 月 日（ ）	午後 時	

平成22年 8月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				